

総合型入試〔資格・検定試験活用型〕について

- Q 法学部で実施する総合型入試〔資格・検定試験活用型〕について教えてください。
- A 総合型入試〔資格・検定試験活用型〕〔法学部〕は、①法学部法律学科が定めるニュース時事検定（N検）3級以上に合格していることを前提に、②募集要項に例示する資格・検定試験において基準スコア（レベル）を満たす人、またはその他の資格・検定試験、探求活動やボランティア活動などの顕著な活動に取り組んできた人を募集する入試です。総合型入試で入学した方は、広く政治・法律・経済に強い関心を持ち、法律学や隣接諸科学を学ぶ意欲の高い学生として、本人が希望する将来の進路を実現するために、2年次から各コースに所属して学んでいきます。卒業後は、現代社会で生じている様々な問題を法的な観点から究明し、解決策を提示するための調査・論述・調整能力を用いて、各分野で活躍することが期待されます。

出願資格について（『入学試験要項 総合型入試〔資格・検定試験活用型〕』『出願資格』）

- Q 外国人でも受験できますか。
- A 出願資格を満たしていれば、受験することは可能です。
- Q 社会人でも受験できますか。
- A 受験に関して年齢の上限はありません。出願資格を満たしていれば、どなたでも受験することは可能です。
- Q 南山大学の他学部・他学科の総合型入試と併願できますか。
- A 本学総合型入試において出願できるのは1学科のみです。複数学科、複数の総合型入試の型への併願はできません。大学および学部・学科のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、出願する1学科を選択してください。
- Q 南山大学の他の入学試験において、他学部・他学科との併願はできますか。
- A 可能です。また、法学部の他の入学試験を再度受験することも可能です。
- Q 他大学との併願はできますか。
- A 可能です。
- Q 出願する条件として、【調査書】の学習成績の状況の基準はないのでしょうか。
- A 調査書の学習成績の状況については、出願基準としては設けていません。調査書と各審査の結果に基づき、総合的に可否を判定します。

出願書類の準備について（『入学試験要項 総合型入試〔資格・検定試験活用型〕』『出願書類』）

- Q 志望理由書にはどのようなことを書けばよいでしょうか。
- A 入学試験要項「1. 総合型入試の趣旨（アドミッション・ポリシー）」を踏まえて、法律学や隣接諸科学について関心のあることから、大学在学中に研究したいテーマ、将来の進路希望などを交えつつ、南山大学法学部法律学科を志望した理由を述べてください。

Q 自己推薦書にはどのようなことを書けばよいでしょうか。

A 出願要件に定める「N 検 3 級以上」の資格の取得以外に、どんな資格を有していて、またはどんな探究活動やボランティア活動等をおこなってきたか、これまで取り組んできた顕著な事項を記すとともに、さらにその資格（または活動経験）をもって今後どんなことに取り組んでいきたいかについて記してください。自己の能力のアピールについては、資格のスコア、表彰、活動が紹介された新聞記事や活動レポート等の写しを提出するなど、根拠を示して記してください。

Q 自己推薦書に記載した自己の功績などを証明する資料の提出は必要ですか。

A 必ずしも必要ありませんが、提出可能なものがあればその写し（A4 サイズ）を出願時に併せて提出してください。

Q 外国語の資格・検定試験の証明書はコピーでもよいですか。

A コピーでも問題ありません。

Q 志願者調書の資格・検定試験の記入欄における出願資格以外に記入できる資格・検定試験の項目には、どのような資格・検定試験を記入できますか。

A 例示を以下のとおり示します。ただし、以下はあくまでも例示であり、明記しているもの以外の資格・検定試験であっても、記入してかまいません。

資格・検定試験の例		
《外国語系》	英語	実用英語技能検定、TEAP、TEAP CBT、ケンブリッジ英語検定、TOEIC (L&R/S&W)、GTEC (CBT/検定版)
	スペイン語	スペイン語技能検定試験（西検）、スペイン語認定証（DELE）
	フランス語	実用フランス語技能検定試験（仏検）、DELTA・DALF（フランス国民教育省認定フランス語資格試験）、
	ドイツ語	ドイツ語技能検定試験（独検）、ゲーテ・インスティトゥート（ドイツ語検定試験）、オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）
	イタリア語	実用イタリア語検定試験、CILS イタリア語検定試験（イタリア政府公認）
	中国語	中国語検定試験（中検）、漢語水平考試（HSK）
	韓国語	「ハングル」能力検定試験、韓国語能力試験（TOPIK）
《簿記系》		簿記検定（日本商工会議所主催）
		簿記実務検定（全国商業高等学校協会主催）
		簿記能力検定（全国経理教育協会主催）
《日本語運用能力・論理力等》		日本語検定（日本語検定委員会主催）
		文章読解・作成能力検定（日本語漢字能力検定協会主催）
		日本語運用能力テスト（Z会主催）
		論理文章能力検定（基礎力財団主催）

Q 途中まで日本の高校に通い、その後外国の高校に転入し卒業した場合、どのような書類を提出すればよいでしょうか。

A 複数の高校に在籍した場合は、転入学、退学等の年月日が記載された成績証明書を各高校から発行を受けて提出してください。成績証明書の提出が不可能な場合は、これに代わるものとして学期ごとの学業評価レポート等の写しを提出してください。

Q 外国の高校を卒業した場合、提出する書類で気をつけることはありますか。

A 書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳を作成し、翻訳の内容が原本と相違ないことを出身高校もしくは大使館等の公的機関で証明を受けた後、提出してください。なお、出願書類は、すべて原本（オリジナル）の提出が原則です。原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を出身高校等から受けた後、提出してください。

Q 高校の推薦書の提出は必要ですか。

A 提出の必要はありません。

出願書類の提出について（『入学試験要項 総合型入試〔資格・検定試験活用型〕』『出願書類等の受付』）

Q 出願はインターネットで行うのですか。

A この試験はインターネットを使用するWeb出願です。要項をよく確認の上、出願登録および入学検定料の支払い手続きをし、出願期間内に書類を送付してください。インターネット上での出願登録および入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。出願期間内に書類を送付しない場合や、書類に不備がある場合は、出願が無効となります。

審査内容について（『入学試験要項 総合型入試〔資格・検定試験活用型〕』『審査』）

Q 小論文ではどのようなテーマが出題されますか。

A 現代社会に関するテーマを出題します。出題文を読み、設問に答え、扱われたテーマについて自分の考えを論述できるかが問われます。論述を通して、基礎学力や論理的思考能力をはかります。

Q どのような面接が行われますか。

A 「志望理由書」や「自己推薦書」に書かれたこと、当日の小論文の内容を参考にしつつ、受験者の志望動機や関心のあるテーマについて、面接担当者が適宜質問を行います。面接の形式は、入学試験要項を確認してください。

その他の質問

Q 昨年度（2025年度）の入試結果を教えてください。

A 今年度（2026年度）から開始される新規の入試のため、昨年度の入試結果はありません。

Q 総合型入試〔資格・検定試験活用型〕【法学部】で不合格になった場合でも、南山大学の学校推薦型選抜や一般選抜を受けられますか。

A 不合格になった場合でも、本学の学校推薦型選抜や一般選抜（他学部・他学科を含む）を受けることができます。その際、この試験を受験したことは有利にも不利にも働きません。

Q 入学手続きの延期はできますか。

A 入学手続きの延期はできません。所定の期間に手続きを行わない場合、入学の意思がないものとみなします。

Q 総合型入試〔資格・検定試験活用型〕【法学部】に合格し入学手続きをした後、南山大学の他の学科に合格した場合、学科を変更することができますか。

A 学科を変更することは可能です。新たに合格した学科の入学手続き時に、所定の手続きを行ってください。

Q 合格してから入学までに行う課題はありますか。

A 入学手続きを完了した方は、大学入学後の活動に備えて、各学科が準備する課題に取り組んでください。課題は、合格通知書発送時に同封します。